

よしだ

～吉田の歴史をめぐる～



水戸市立第四中学校

1年7組 綿引愛花

目次

1. 研究したわけ…p. 2
2. 研究のすすめ方…p. 2
3. 研究したこと…p. 2～10
4. 研究して分かったこと（まとめ）、感想…p. 10

1. 研究したわけ(動機)

「吉田」には、たくさんの貴重な名所、史跡や文化財などが残っています。そして、水戸駅南通りや6号国道、50号バイパスなどの交通、学校や図書館、公園など、環境にも恵まれています。数多く残されている貴重な名所、史跡や文化財などから、昔の「吉田」には何があり、どのように移り変わってきたのかを知りたくなったので、調べてみることにしました。

2. 研究のすすめ方

- (1)本やインターネットを使って調べる。
- (2)実際に調べた場所を訪れてみる。
- (3)調べたこと、行った場所で分かったことをまとめる。

3. 研究したこと

(1)吉田の歴史

年代（西暦）	出来事
古代・中世の頃 (縄文～鎌倉・室町時代)	常陸国那珂郡吉田郷と呼ばれていた。
寛永12年（1635年） (390年前)	水戸領郷高帳に吉田村2,336石、戸数185とある。福沢村、古宿村、木沢新田、東野新田、茂沢新田などは当村から分村した。
天保13年（1842年） (183年前)	古宿村を吉田村に吸収合併
明治4年（1871年） (154年前)	廃藩置県（水戸県から同11月13日茨城県に改称す）
5年（1872年） (153年前)	浜街道（水戸街道、岩城相馬街道）を陸前浜街道と改称 (p. 7.8 地図①陸前浜街道)
6年（1873年） (152年前)	吉田小学校同心町下宿1594番地伊藤氏宅に開校（生徒男60名 女10名） (p. 7.8 地図②吉田小学校)

伊藤家の方から伺った話

「仕事がなくなったお侍さんたちが、近所の子供たちを集めて手習いを教えようかと始まったことが吉田小の始まり。教えてもらった人たちが丁稚奉公（でっちぼうこう）に行き、お金を稼いで水戸に戻ってきたという話がある。」ということでした。



伊藤家の方が見せてくれた写真



明治8年 (1875年)
(150年前)

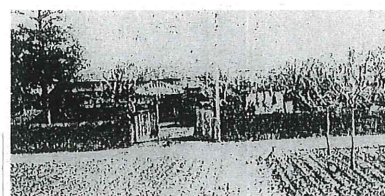
吉田小学校同心町東新割 1663 の旧水戸藩の郷倉跡に移転、稗倉を校舎に (p. 7. 8 地図③吉田小学校)

22年 (1889年)
(136年前)

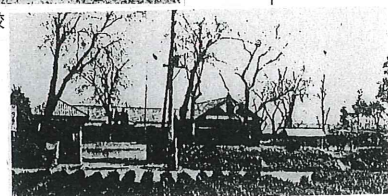
町村制公布 吉田村は吉沢村、米沢村、東野村を合併。吉田小学校も合併して現在地に移転生徒 81 名 (男 60 名女 21 名)

(p. 7. 8 地図④吉田小学校)
(p. 9 参考資料①吉田小学校)
〈合併時の吉田村〉

旧町村名	戸数	人口	反別	地価金
吉田村ノ内	241 ^戸	851 ^人	443 ^町	46,730 ^円
吉沢村	46	276	146	7,585
米沢村	31	221	75	7,471
東野村	19	137	77	5,198
計 4	337	1,485	741	66,984



明治、大正時代の吉田校



昭和、戦前の吉田校

23年 (1890年)
(135年前)

役場を同心町下宿 1597 (今の第 8 分団詰所) に新築 (p. 7. 8 地図⑤役場)



42年 (1909年)
(116年前)

県立工業学校応用化学科 東組 1506 (現水戸南高校のところに) 開校 (p. 7. 8 地図⑥水戸南高校)



大正3年 (1914年)
(111年前)

吉田古墳とその石室壁画発見 (大 11 年国指定の重要史跡指定) (p. 7. 8 地図⑦吉田古墳) (p. 9 参考資料②吉田古墳)



昭和4年 (1929年)
(96年前)

水戸電気鉄道開業、同 13 年閉鎖 (p. 7. 8 地図⑧水戸電気鉄道路線)

長岡にある常陸長岡駅の
プラットホーム跡です。



昭和6年 (1931年)
(94年前)

水戸殉難志士弔魂碑樹立 (2基) (境橋行刑所)
(p. 7. 8 地図⑨境橋行刑所)
(p. 9 参考資料③境橋行刑所)

都市化に伴い更地に。
慰霊碑は水戸市元山町一丁目
神應寺に移転。
水藩殉難志士弔魂碑 (左) と
慷慨壯烈 (昌木晴雄) 碑 (右)



7年 (1932年)
(93年前)

千波下沼干拓完了
(p. 7. 8 地図⑩千波湖埋め立て地)
(p. 9 参考資料④千波湖埋め立て地)



15年 (1940年)
(85年前)

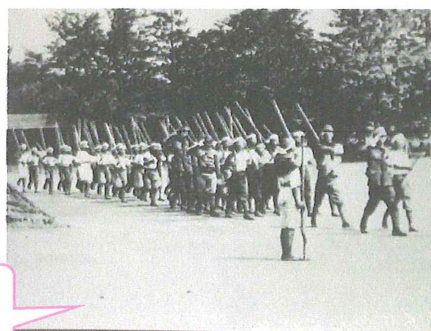
水戸陸軍航空通信学校 (吉田飛行場)
開校、同20年8月終戦時閉鎖
(p. 7. 8 地図⑪吉田飛行場)
軍用道路 (新道) 開設
(p. 7. 8 地図⑫軍用道路)



上の写真は吉田飛行場記念碑、
左の写真は軍用道路 (吉田小学校
正門前の通り)

20年 (1945年)
(80年前)

水戸地区大空襲 (吉田地区も被害)、
終戦
占領軍先遣隊40名 (連合軍)
飛行場の兵舎を利用して茨城県に
軍政を施行
米軍第8騎兵隊500名駐留



写真は吉田小学校児童の軍事教練

22年 (1947年)
(78年前)

学制改革で吉田中学校が一里塚東1872に開校 国民学校が小学校
に改称 (p. 7. 8 地図⑬吉田中学校)

30年 (1955年)
(70年前)

吉田村が水戸市に合併、すでに水戸市吉田があるので元吉田となる

33年 (1958年)
(67年前)

吉田中学校と酒門中学校が合併して現在の地に水戸市立第四中学校誕生 (p. 7.8 地図⑭水戸四中)

36年 (1961年)
(64年前)

ひばり学園及び学園内養護学級開設、のちに茨城県立子ども福祉医療センター、茨城県立水戸養護学校 (現茨城県立水戸特別支援学校) となる (p. 7.8 地図⑮子ども福祉医療センター、元養護学校) 市農業研修所開設 (現東部公園地内) のちに市園芸センター、更に小吹に移転 (p. 7.8 地図⑯園芸センター)

41年 (1966年)
(59年前)

薬王院本堂、
国の重要文化財指定
(p. 7.8 地図⑰薬王院)
(p. 9 参考資料⑤薬王院本堂)



44年 (1969年)
(56年前)

皇太子ご夫妻 (現上皇) ひばり学園ご慰問 (p. 7.8 地図⑱皇太子道路)



同年 (同年)
(56年前)

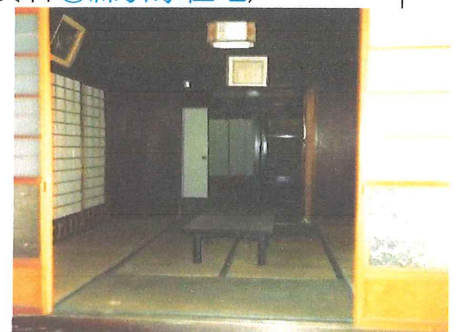
水戸工業高校現在地に移転
(p. 7.8 地図⑲水戸工業高校)

昭和 38 年、水戸工業高校
夏の全国高校野球大会
(甲子園) に出場



45年 (1970年)
(55年前)

綿引家住宅、市指定のち県指定文化財となる
(p. 7.8 地図⑳綿引家住宅) (p. 9 参考資料⑥綿引家住宅)



50年 (1975年)
(50年前)

小学生学区変更のため、荒谷、西組、東組の一部 162 名千波小へ

52年 (1977年)
(48年前)

市立吉田が丘幼稚園開園
(p. 7. 8 地図⑳吉田小学校敷地内)

現在駐車場となっているところ
に木造の園舎がありました。



55年 (1980年)
(45年前)

国道6号水戸バイパス全線竣工 (4車線)
(p. 8 地図㉑6号国道)

56年 (1981年)
(44年前)

元吉田 1731 番地に吉田連絡所設置
(吉田公民館併設) 平成4年改築
(p. 7. 8 地図㉒吉田市民センター)



59年 (1984年)
(41年前)

小学生学区変更のため 657 名吉沢小へ (東野地区、吉沢地区)

61年 (1986年)
(39年前)

百樹園が水戸市の都市緑地公園と
なる (p. 7. 8 地図㉓百樹園)
(p. 9 参考資料㉔百樹園)



国道50号バイパス全線開通



平成元年 (1989年)
(36年前)

吉田秋まつり (東部公園で、水戸市 100 周年記念の行事として始
めた)
東部図書館開館 (p. 7. 8 地図㉕東部図書館)

9年 (1997年)
(28年前)

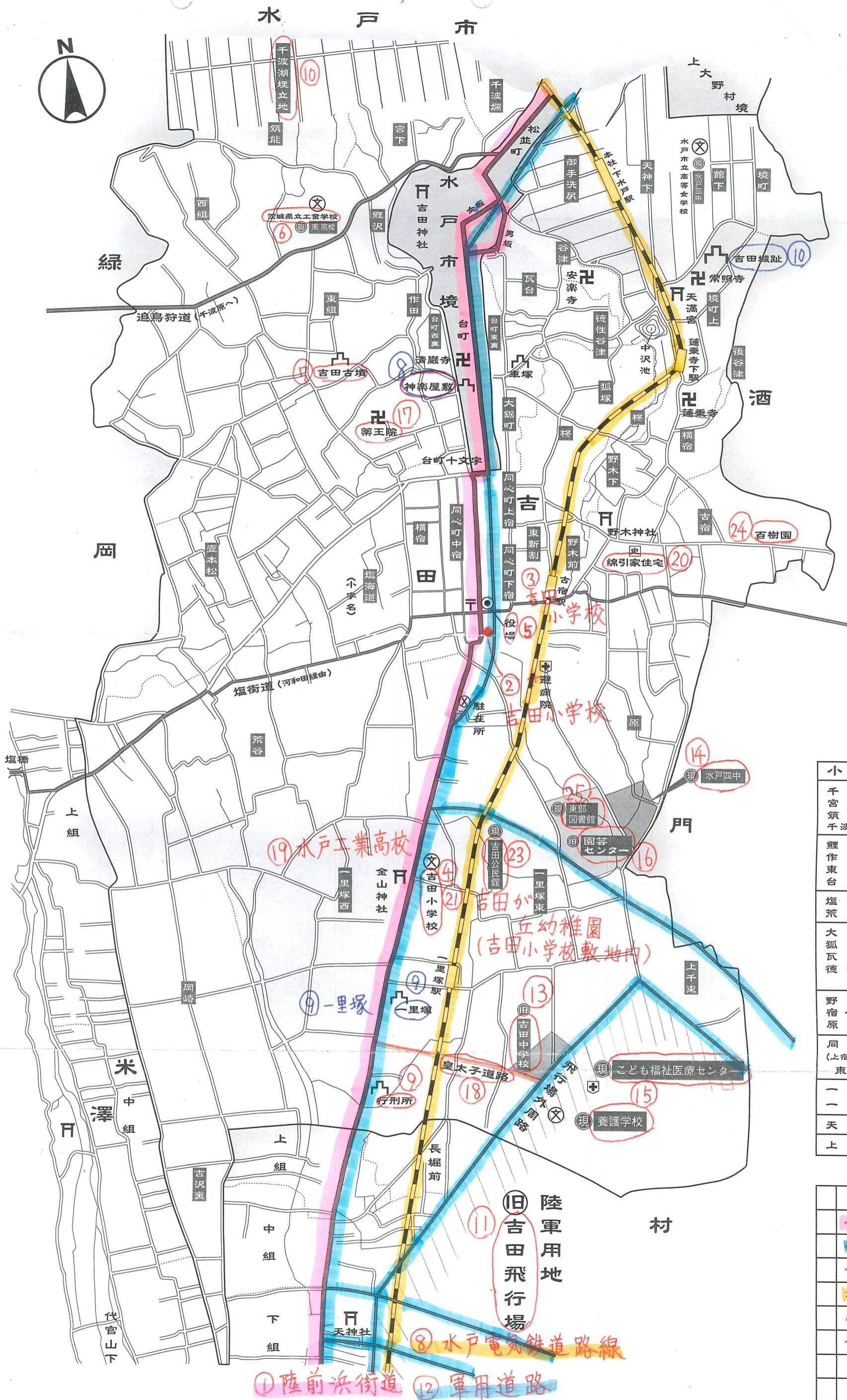
駅南中央通開通
(p. 8 地図㉖駅南中央通り)



茨城県茨城郡吉田村大字吉田全略圖

縮尺 九千分之一

(昭和十五年吉田村土地宝典より)



新・旧地名対比

小字名	新町名
千波端 宮筑 千波湖埋立地	白梅
鯉作 東台	東組
塩荒	荒谷
大狐 瓦徳性谷 柵	大鋸町 中沢池
野木前 宿・境町 原・横	古宿(東西) 原(東西)
同心町 (上宿・中宿・下宿) 東新割	同心町 (上下東)
一里塚東 一里塚西	一里塚 上・中・下
天神下	朝日町
上千東	住吉

凡例

●	役場
— (pink)	陸前浜街道
— (blue)	新道 (軍用道路)
— (grey)	塩街道
— (yellow)	水戸電氣鐵道
— (orange)	皇太子道路
— (black)	追鳥狩道
原	小字名
凸	史跡等

(2) 参考資料

①吉田小学校

今の吉田小の駐車場の一角に光圀公の筆跡の忠孝碑が現存。



②吉田古墳 (昭和34年国指定史跡指定)

飛鳥時代の6世紀以降に作られたもの。高さ1.6m、直径8mの円墳。金環、鉄の矢じり、直刀、まがたまなどが出土した。日本の装飾古墳の中でも重要な地位を占める横穴式古墳。壁面には矢筒や小刀、武具のようなものが描かれている。(常陽銀行吉田支店の外壁に模写絵あり) 埋葬施設は凝灰岩を積み重ねて造られている。

③境橋行刑所

幕末の水戸藩の争乱で天狗党や尊王攘夷の志士たちが処刑された。

天狗党リーダーの武田耕雲斎、山国兵部、田丸稻之衛門、藤田小四郎らの首がさらしものになった場所。

水藩殉難志士弔魂碑はそれら死者を弔う碑。慷慨壮烈碑の昌木晴雄は、この吉田境橋刑所でハリツケの刑となった。

④千波湖埋め立て地

昭和の初めに千波湖の3分の2が埋め立てられた。以前の千波下沼が吉田神社の下まで広がっていた。吉田の地名の千波端はその名残の地名。

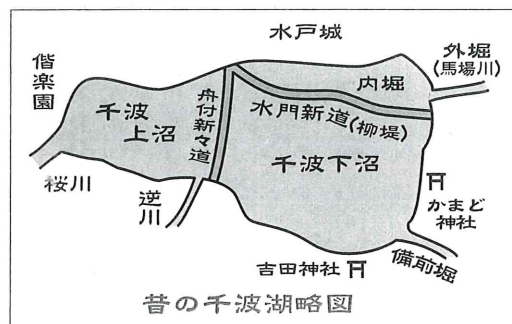
吉田神社の方の話

「城南付近まで広がっていた千波湖を埋め立てるために吉田神社があるの山の土を削って持っていった。そのため、崖が急になっている。前はもつとなだらかな山だった。」

⑤薬王院本堂 (昭和41年指定 国指定重要文化財)

吉田山神宮寺薬王院は、関東唯一の青蓮院直末の天台宗寺院である。

平安初期に桓武天皇の勅願所として建立され、本堂である薬師堂が国指定重要文化財で、大永7年(1527年)に焼失したが、外護者江戸氏により復興、更に「大檀那」の光圀によって修復された。地方における本格的な寺院である。昭和43年の復興工事により建立当初の姿に再現された。



⑥綿引家住宅 (平成3年指定 県指定文化財)

江戸時代末期の吉田村の庄屋住宅で木造、平屋、茅葺き、直屋形である。農家形式ではあるが、土間が狭く、居住部が広いという特色は、村役人として、土間の作業を必要としなくなった様子がうかがえる。

倉は稗倉とよばれ、稗、粟、もろこしなどを食料飢饉に備えて、村人の暮らしを守るために備蓄しておいたものであろう。現存するものとしては、大変珍しく貴重なものであり、今も当時の姿をとどめている。

⑦百樹園

江戸時代の百色山(光圀が那珂川べりにつくった植物園)に倣って、木村伝兵衛氏が古宿に造った植物園。牧野富太郎博士らの助言を受け、0.8haに裸子、被子植物の標本的種類の植物を全国から収集して、昭和の初めに完成した、個人の珍しいものであった。

タイサンボク、ユリの木、銀杏、大王松などの巨木の杜は70年の星霜を経て清々しい山の気が立ち上っている。

⑧神楽屋敷跡 (p. 7. 8 地図②⑦神楽屋敷跡)

水戸八幡宮
御用の大神
楽の発祥の
地 (石碑)
宝暦 2 年
(1752 年)
吉田台町の
栗林主計



(かずえ) が東照宮祭礼に神楽獅子として
供奉し、天明 5 年 (1785 年) にその株を
譲り受けた足黒村 (現・茨城町) の宮内求
馬 (もとめ) が御用神楽司となった。
大神楽は獅子舞によって悪霊を祓い、合わ
せて曲芸を演じる芸能。

⑨一里塚 (p. 7. 8 地図②⑧一里塚)

江戸幕府が
全国の道路
整備と旅行
者の目印の
ために道路
を整備した。
この街道に
も一里塚が
設けられ、
榎をうえた
という。
東塚、西塚
があること
は珍しい。



上が東塚、下が西塚の写真

⑩吉田城址 (p. 7. 8 地図②⑨吉田城址)

約 700 年も昔、那珂郡吉田郷と呼ばれていた頃、吉田古宿村に
吉田館を居城とした吉田次郎とその子吉田太郎という豪族がいた。
吉田神社を中心とした吉田郷 (吉田、酒門、上大野、細谷、浜田、
緑岡あたり) を支配していたという。
その城跡は中沢池と常照寺池に挟まれた半島台地の常照寺の広い
領域にある。大手門に当たる正門は隣の蓮乗寺の墓地から天神山
木楽園の前を歩いて入るときの空堀辺りにあったとされる。



4. 研究して分かったこと (まとめ)・感想

「吉田」という地域は、400 年以上前の古代・中世のころから吉田郷と呼ばれていました。吉田の地名は地形や位置、住民の職業や集落の成り立ちから名づけられているものが数多くあり、地名を見ると、その土地の歴史や様子が分かってきました。千波湖は、大正末まで吉田神社の下まで広がっていて、昭和の初めに千波湖の 3 分の 2 が埋め立てられたことを初めて知りました。吉田神社を中心とした吉田郷には吉田城があり、この吉田の地域にお城があったことに驚き、見てみたかったなと思いました。江戸に続いていた陸前浜街道を調べると、当時の生活の様子や武士の関わりが感じられて、当時の様子をもっと知りたくなりました。夢の鉄道と言われた水戸電気鉄道は、短い期間で終わってしまいましたが、当時、これだけの鉄道を人力で作業したことはとても大変なことだったと思います。もし残っていたら、私も使っていたのかなと考え、なくなってしまったのが残念です。身近なところに吉田飛行場があり戦争は他人事ではないこと実感し、平和について考える機会になりました。たくさんの文化財や史跡から、歴史について学ぶ機会になりました。私も通った吉田小学校は、初めから学校としてできたのではなく、仕事をなくしたお侍さんが子供に手習いを教えようと始めたことも初めて知りました。手習いで教えていたものが吉田小から、千波小、吉沢小へと増えていき、この吉田の地域の学ぶ姿勢や熱心さを感じました。今回調べていて、吉田のたくさんの歴史を知りました。吉田の歴史にとっても興味がわいて、一つ一つのことをもっと詳しく調べてみたいくなりました。

〈参考文献〉

吉田の今と昔/インターネット (いばらき解体新書/アメーバブログ (〈史料〉水戸藩の処刑場吉田境橋行刑場追補)/水戸市ホームページ)/地図 (水戸市市街図)